

## 学校を核とした地域づくりを目指して ～このまちが好き！と皆が言えるように～

<b>高島市</b>	活動名：高島学園地域学校協働本部	高島小学校・高島中学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：70人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他〔福祉活動、まちづくり活動等〕		

### ■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 ■その他（公民館、各種団体等）

### ■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

#### （1）学園全体の取り組みについて

小・中学校の各学校運営協議会が学園一つになることで、小中一貫校を生かした広がり・繋がりある活動について熟議出来た。

#### （2）ボランティアの拠点づくり

以前より小学校に設置されていた「修身堂ボランティア」ルームが、中学校にも今年度より正式に設置することが出来た。名前を小学校は「修身堂ひびきあいルーム」中学校は「修身堂つながりルーム」とした。

#### （3）学校・地域連携カリキュラムの作成に向けた意見交換

### ■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

#### （1）読書の充実に向けて

小学校では図書ボランティアの活動が定着しており、各教室での朝の本の読み聞かせ、昼休みには専用の「おはなしルーム」で本の読み聞かせ、また年3回、図書委員の子らとのイベント開催など、とても盛んとなった。

また、中学校での朝読書にはほんの10分ほどの活動にも関わらず、多くの地域の皆さんに参加してもらうことが出来た。中学生徒会より、手作りのブックカバーが参加者にプレゼントされ、益々つながることが出来た。

#### （2）中学生の地域への関わり

コロナが5類となり、地域での行事等も復活し、「大溝まつり」に曳き手として参加、歴史遺産である「大溝城址の清掃活動」に参加、高島地域スポーツカーニバルにスタッフ参加、また「大溝まちづくりマルシェ」に多くの生徒が積極的に参加するなど、地域に大きく貢献することが出来た。

#### （3）運動会に向けて

運動会に必要な道具を、生徒会と地域の皆さんと共に作製することが出来た。

また、運動会に向けて地域&PTAが協力して清掃活動を行うことが出来た。



【若い力で祭りを盛り上げる】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・各学年の教員等から要望の聞き取り、学校運営協議会で熟議されたことを、出来る範囲内でその思いが実現出来る様心がけた。
- ・各団体等に配布する広報紙には、その団体から参加されている方の写真を選び掲載するよう心がけた。
- ・製作活動はボランティアだけで行うのではなく「子ども達に出来ること」で参加してもらおうよう呼びかけた。

### ■ 事業の成果

昨年度目標に掲げていた、PTAとの合同協働活動が実現し、地域の方と保護者の間に交流が生まれ、活動の幅が広がった。

また、学校行事等が地域にも浸透し、それぞれのカタチで活動が行われている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

開設以来続けてきた活動は地域に定着している。また今後新たな取り組みも熟議を重ねた上で行っていきたい。



【みんなの力で！マラソン大会】

### ■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会以外で行う「コミュニティ・スクールびわこ全日本大会」には活動家の皆さんに多く参加して頂いており、話し合われたことは大いに協働活動に活かされている。

### ■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（学年主任・生徒会担当教員等）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

つながり響き合う教育を目指して ～マキノ地域学校協働本部～

高島市	活動名：マキノ地域学校協働本部	マキノ東小学校・マキノ西小学校・マキノ南小学校 マキノ中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b> 開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：108人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [ ]			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

(1) 小中学生、地域の方を交えた学校運営協議会での内容

- ・小中学校ではその主体でもある児童・生徒自身の考え方や意見等を踏まえて学校運営が出来るよう、協議会に児童・生徒、地域の方に参加頂き熟議等を行うことが出来た。どちらも対象、現場を踏まえた意見を共有、相互理解が出来、今後の学校運営に前向きな意見が出された。
- ・中学校では、地域の方、PTA役員に生徒が加わって、テーマを「誰もが居心地のよいマキノ中学校にするために」として実施されたこともあり、生徒からは「もっとこんな機会を増やして欲しい。」との意見が出された。
- ・小学校では2校で児童と学運協委員が意見交換を行う機会を持っていただくことができたが、テーマを「地域に役に立つこと」、「夏休みの宿題について」として実施され、喋りやすいテーマで児童と委員がうまく話し合うことができた。



【中学生を交えた学校運営協議会】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 小学校での協働活動の連携

- ・地域資源を活かしたフォトロゲイニングの実施  
夏休みのPTAの事業で、地域の方から聞いた見どころをマップに落とし、親子のグループでポイントをどれだけたくさん回れるかというフォトロゲイニングを実施し、地域の理解と次回の実施など前向きな活動が行われた。
- ・150周年事業で、地域の方を招き学校探検を実施  
記念事業に合わせ、来られた地域の方を児童が作成した問題を一緒に解きながら学校の校舎内を案内し、相互のコミュニケーションが深められた。



【フォトロゲイニングの実施】

■ 実施に当たっての工夫

今年度から地域連携カリキュラムを運用していくことになり、より児童、生徒・保護者には地域の魅力を知ってもらおうと共に、地域の方に関ってもらえるような機会を増やせるように努めて頂いた。

■ 事業の成果

- |      |                             |     |                                  |
|------|-----------------------------|-----|----------------------------------|
| ○子ども | 地域への理解・関心の高まり<br>社会貢献       | ○学校 | 新たなボランティア人材の発掘<br>円滑な連携カリキュラムの運営 |
| ○地域  | 地域の教育力の向上・地域の活性化<br>社会参加の提供 |     | 地域への理解・関心の高まり<br>児童への社会貢献の機会の提供  |

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

これまでの学校、学運協、地域への働きかけと学校での熟議、ボランティアの登録に配慮して頂いたことで、地域の方との連携が進み、学校側の広報、LINEを活用した呼び掛け等もあって、ボランティアの数も増え、関わりも増えるようになった。ただ、このような取組も全ての学校で行われているものではないので、さらに学校同士の連携や理解を深めて欲しい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会委員に教師、児童・生徒、地域の方と直接話をしてもらった熟議、懇談会等の機会を作って頂いたことにより、現場の声を直接聞いて頂き、意見交換することが出来た。今後はさらにその機会を増やして頂き、今年度から始まった地域連携カリキュラムについてもこのような現場の意見等を踏まえて主体的な関わりを持って頂けるとともに、9年間を意識したカリキュラムの実施を検討して頂けることを期待したい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

## ふるさとを愛し 豊かな心を育み 自ら学び挑戦する子の育成を目指す取組

<b>高島市</b>	活動名 : <b>今津地域学校協働本部</b>	<b>今津東小学校・今津北小学校・今津中学校</b> 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：平成 30 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [ ]		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（民政委員長/児童委員他）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

今津町で出来た「琵琶湖周航の歌」に関する小学校から中学校までの一貫した取組は出来ないものか？

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

今津中学校（3年）、東小学校（5年）、北小学校（5年）が合同で湖岸に咲く「はまひるがお」の保全活動を行った。また、今津中学校（3年）、東小学校（6年）、北小学校（6年）合同で特定外来種ナガエノツルノゲイトウの除去作業をおこなった



【 はまひるがお保全活動の様子 】

■ 実施に当たったの工夫

1年間かけて、地域協働プログラムとして実施できないか検討してきて実施することができた。

■ 事業の成果

中学生、小学生がびわ湖の湖岸にある保存すべき植物と除去すべき植物の違いが分かり今後につながる。

また、同時進行でおこなった湖岸清掃も役立ち、びわ湖岸を美しくすることにつながる。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

5年生がおこなった「はまひるがお」の保存活動は開花時期が過ぎており次年度以降に変更の工夫がある。

6年生のおこなったナガエノツルノゲイトウ除去の作業では、作業見学になってしまったため今後の検討課題である。



【 特定外来種除去作業の様子 】

■ その他（学校運営協議会との協働等）

事業の開始前に学校運営協議会を持つことが出来なくなってしまい細かく打合せが出来なかった。

学校運営協議会と細部の打合せは出来ていないが方向性は理解し合えているので十分と思われる。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（主幹教諭、担当教諭）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

つながり響き合う教育を目指して ～朽木地域学校協働活動本部～

高島市	活動名：朽木地域学校協働本部	朽木東小学校・朽木西小学校・朽木中学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：105人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [ ]		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・子どもたちにつけたい力
- ・地域連携カリキュラム
- ・学校運営や地域に関わる課題

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・朽木東小学校 ・家庭科の授業の発展として6年生が「地域を元気にしたい 朝市で何かを売ろう」という思いで活動することができた。その活動には日赤奉仕団の方々の応援（朝市出店のものづくり準備・材料の調達・作り方の指導・当日の応援等）と子どもたちの地域を思う願い、その思いを応援したいという地域の方々の支えとがあり実行できた。収益金は子どもたちの考えで募金することになった。
- ・朽木西小学校 ・運動会や学習発表会、授業参観、グランドゴルフ等学校と地域が一体となって活動することができた。縮小されていたいろいろな行事が少しずつ元に戻ってきたので子どもたちの元気が地域の方の元気の源となり笑顔につながった。
- ・朽木中学校 ・生徒会を中心に「地域とつながろう」をテーマに活動できた。自治組織協議会「すみまち」との連携で生徒会と「すみまち」の委員とで話し合いを2回行った。その中での内容を元に、年末の民生委員児童委員協議会による活動を、中学生自身が書いた手紙を持って一緒に各家を訪問できた。また、秋のすみまち主催「米祭り」では中学生の太鼓発表や各お店のボランティアもしてイベントを盛り上げた。地域行事のスポーツフェスティバルには係の仕事をしたり、競技に参加したり地域の一員として活動できた。また、こども園の夏祭りや運動会のボランティアにも積極的に参加することができた。



【朝市出店・募金活動】



【こども園運動会ボランティア】

■ 実施に当たっての工夫

- ・各校園の行事の把握に努め、地域と連携できることやつながれる内容を考えた。
- ・各団体や協議会と連携に努め、協働できることを増やした。

■ 事業の成果

- ①地域の団体の主体的な取り組みがあり、たくさん子どもたちが参加することができた。そのことで、たくさんの地域の方とふれあうことができ地域の方のありがたさや地域の良さに気づくことができ、自己有用感を持つことができた。
- ②今年は、いろいろな行事が復活し、中学生の活躍の場が増えた。特にこども園でのボランティアで、園の子どもたちとふれあったり先生方や保護者との関わりもでき自己肯定感を持つことができた。
- ③子どもたちの主体的な活動が少しではあるができた。お世話になっている地域を盛り上げたい、役に立ちたい、自分たちのできることは何かと考えて活動ができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

子どもたちの主体的な活動はできてきたがまだまだ、学校だけ地域だけでは限界があり、協働の重要性を改めて感じた。また、これから先のことも考え、持続可能な活動にしていくことも大事だと思う。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会の運用・委員の役割を研修し、ますます「学校づくりは地域づくり」を合い言葉に活動していけることを願う。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（担任等教職員）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

つながり響き合う地域づくりを目ざして～みんな主役～ ～安曇川地域学校協働活動～

高島市	活動名：安曇川地域学校協働本部	安曇小学校・青柳小学校・本庄小学校 安曇川中学校	学校運営協議会 ■有 □無
-----	-----------------	-----------------------------	---------------

地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数2人（兼務2人） ボランティア登録数：70人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他〔福祉学習〕
--

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）  
 ■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他（ボランティア団体・個人 社協）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ① 授業参観後に協議会をする学校が増え、子どもの様子から、学習や日常のこと等、具体的なことを話す機会が増えた。
- ② 昨年度先生方と一緒に作ったカリキュラムを中間見直しをしながら、地域の方との協働活動の内容や更新等検討ができた。
- ③ 支援の方を探す時、学運協で話し合い、委員の皆さんも、ボランティア探しに協力的で、関わり人口が増えた。
- ④ 生徒、児童と一緒に会議に参加して、子ども達の考えを聞き、地域の方とどのように関わって協働活動ができるか考えた。
- ⑤ それぞれの学校の、特徴を出した活動にするために、地域の方を講師として、郷土を学び、どのように地域と繋がるか。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ① 体験活動 琵琶湖に近い学校だから、「湖漁を食べて元気になろう」昔は日常的に湖漁（雑魚）の煮付けが食事に出ていた。もう一度再現を。保護者も魚捌き教室を実施。ウグイやハスの3枚おろしを学び、つみれにして焼いて食べる。子ども達は、初めてのことが喜び、骨をたたいてつみれを焼きおいしそうにいただいた。（2小学校）
- ② 地域の施設やボランティアグループや社会福祉協議会との連携 図書館や藤樹記念館に近い学校は、定期的にそこへ訪れる計画を立てる。地元の施設になじみ誇りに思う。手話クラブ、人形劇団 剪定クラブ等 自分たちが練習をしていることを学校の活動に活かせる。お互いに喜び地域の方も生きがいを感じている。
- ③ 社会福祉協議会と繋がる。福祉教育 3年聴覚障害 4年視覚障害（3小学校） 中学校は、ボランティア活動をするにあたり、ボランティアの内容を、社協職員・推進員・生徒・担任と一緒に考える。
- ④ 3小学校共通に「菌太郎」の作者に来ていただき、読み聞かせをしていただき食育について考える。
- ⑤ キャリア教育にて、地域で活躍、懸命に仕事している人の話を招き。働くことについて考える。
- ⑥ どここの学校も定期的に除草作業を、PTAと祖母地域の方などで一緒にすることができた。月1回作業日を設けられた。
- ⑦ 住民自治協議会と民生委員、日赤奉仕団などともつながり、年末に一人暮らしのお年寄りに手紙や花の苗を届ける。



【はす（湖魚）をさばく】

■ 実施に当たっての工夫

- ① 事前打ち合わせ・講師、担任 推進員で必ず連絡、相談しておく。事前準備も詳細を学校へ知らせ準備物等も依頼しておく。
- ② 子どもの数、活動によってボランティアさんを頼む。
- ③ 4校（中1、小3）担当しているのでできるだけ学校をまんべんなく周る。
- ④ 先生にあの事どうですか等、気楽に話せる雰囲気を作り、相談も気楽にできるように。
- ⑤ 学運協においても、協働活動の情報と現状と課題を話す。協力を依頼する。



【「菌太郎」読み聞かせ・食育】

■ 事業の成果

- ① 学校はにぎやかになってきた。子ども達も気さくに地域の方にあいさつをしている。
- ② 地域の方から、「気持ちよく挨拶してくれたわ」とのうれしい言葉を聞く。
- ③ ミシンなど個別に関わったりしたら、丁寧にお礼を言ってくれる。
- ④ たくさんの人に声をかけてもらったり、ほめてもらったり、子ども達はいい気分。
- ⑤ 教育活動が充実したと思う。子ども達も早くきれいにでき、自信满满でいい気持ち。
- ⑥ ボランティアの皆さんも活動が広がったと言って、喜んで参加して下さってる。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ① どうしてもボランティアに来てくださる方が偏っているので、多くの人に来ていただけるよう、開拓をしていく必要がある。
- ② 学校の情報を得ることと、身近に簡単な相談打合せで実践できるよう、各学校に一人の推進員がいると充実する。
- ③ 教職員も私たちも発想の転換をして、子ども達の意見を取り入れた活動も必要になってきた。特に中学校では。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ① 小中一貫教育と小小連携のつながり考えた活動を、もっと増やしていきたい。
- ② 生徒の入った学運協や、委員の皆さんの発言も増えてきているので、人数なども増やし協力してもらえる学運協

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（事務職員）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

つながり響きあう教育を目指して ～みんなであたたかく見守り育てよう「学而事人」の人～

高島市	活動名 : 新旭地域学校協働本部	新旭南小学校・新旭北小学校・湖西中学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度 : 平成 30 年度 地域学校協働活動推進員等数 : 2人 ボランティア登録数 : 136 人 (むくげの花の会、夢の会、希望の会) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア (読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成 (地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [教育相談窓口開設]		

- 事業を考案する主体 (該当するすべてに印)
  - 学 校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行 政 その他 ( )
- 学校運営協議会で熟議された内容 (地域学校協働活動に関わる内容等)
  - 【湖西中学校】・校内研究主題であるSDGsと学校・地域連携カリキュラムの位置づけや年間の予定について
    - ・学校地域合同防災学習 (学校、地域、行政、PTAで取り組む防災訓練) について
  - 【南小学校】・学校・地域連携カリキュラムについて (実施する内容について学運協委員、ボランティア、教職員で熟議)
    - ・学校運営における地域、PTAとの連携強化について
  - 【北小学校】・「みどりプロジェクト (高学年による地域貢献活動)」についての成果と課題
    - ・学校・地域連携カリキュラムについて
    - ・自由進度学習について
- 地域と学校が協働した活動 (特徴的な活動)
  - ・学而事人おはようミーティングの活動 始業前に校門や昇降口、校舎内で挨拶・声かけをする。会員 (むくげの花の会)、生徒、教職員、保護者のにぎやかなミーティングの場としている。支援活動の情報交換や打ち合わせの場でもある。この活動は、学校の敷居を低くし、より活動しやすい環境作りとなっている。(湖西中)
  - ・学校地域合同防災学習 計画段階から行政、地域 (防災士、ボランティア)、PTAで取り組む防災訓練を行った。(湖西中)
  - ・地域貢献活動・地域と連携した活動 中学校吹奏楽部は、ふれあい食堂・新旭ふくし祭・地域のイベントで出前演奏を行った。中学校家庭部は社会福祉協議会と連携して作品を高齢者、施設、公共施設へ配布している。北小学校では、高学年が自治会と協働し自分たちで企画運営する地域貢献活動を行った。中学生と小学生と一緒に駅前のゴミ拾いを行った。
  - ・のぞみひろばの活動 北小学校からの「地域の方と子どもたちがふれあう機会をもっと増やしたい!」といった要望を受け、毎週金曜日の昼休みに子どもたちと地域の方があそびで交流をする機会をつくっている。
- 実施に当たっての工夫
 

各校の「ボランティアの会」の「世話人会」を毎月実施し、学校と活動の意義、実施方法等を十分協議して協働活動を行っている。協働活動の計画に当たっては地域の方が少しでも多く学校へ来ていただけるように、また、児童生徒が地域に出て活躍できるように考えている。活動が活発に行えるよう地域の団体との連携や保護者・祖父母の参加にも配慮して取り組んでいる。

■ 事業の成果  
 「児童生徒が地域のボランティア活動へ積極的に参加するようになった。」「学校に入りやすくなった。」「以前に比べ子供たちが落ち着いて授業を受けている。」などの言葉を頂いている。今年度は、広くボランティア活動に参加を呼びかけることができ、多くの方に参加していただいた。登下校の見守り活動が充実し、不審者の減少や運転者のマナーも向上した。「校区として学校を核とした地域づくりと共に交通安全」に貢献しているとして表彰をいただいた。



【 学校地域合同防災学習の様子 】

- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
  - ・関係の団体や機関・施設等との連携を進め、小中学生の体験活動や地域貢献活動の場を拡げていくこと。
  - ・町内の保育・幼稚園や学童保育所にも支援・協働の活動を拡げる地域総がかりの子育てにつなげること。
  - ・ボランティアの会の高齢化、新規会員の発掘が課題。



【 のぞみひろばの活動の様子 】

- コーディネーターと協働する学校関係者 (該当するすべてに印)
  - 校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他 (学年主任、担任)

報告書記入者 ( 地域学校協働活動推進員 )